



の皆様の心に響くものがあれば有り難く思います。全員で今後も尾道青年会議所を盛り上げていきましよう!!!

(記事: 未来ビジョン委員会 委員長 吉田 雄太)

## 11月例会

11月例会ではチャータメンバー、歴代理事長の話をもとに当委員会で過去、現在、未来の尾道青年会議所を検証し、発表させていただきました。変わった事、変わってないこと、または今後変えていかなければならぬこと、様々なことが分かりました。青年会議所活動に正解はないと思いますが、皆が今よりほんの少し考え、行動することでより良いまちづくりに繋がっていくのではないのでしょうか。今回の例会でメンバー



**100% 出席委員会**  
**総務広報委員会 (10ヶ月連続中!!)**

# バッジ授与式

11月19日（月）、尾道国際ホテルにて開催された11月例会において、2018年度新入会員バッジ授与式が執り行われました。

新入会員7名の皆さんが正式に尾道青年会議所の一員としてJCBバッジとネームプレートを安本理事長より授与されました。



バッジ授与の後に行われた大池慎三君による新入会員代表挨拶では、緊張の面持ちながらもこれらのJCBライフへの意気込みを感じるこ

とが出来ました。改めて、7名の新入会員の皆様、ご入会おめでとうございます。

そして、会員の皆様、OB諸先輩方、本年度の拡大活動に多大なご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

（記事：拡大研修委員会委員長 高升純）



# 防災授業

in 高須小

去る11月14日（水）も、高須小学校へ3年生向けに防災授業を実施してきました。教壇に立つ委員会メンバーもしっかりと準備をこなし慣れた感じで授業をしてくれました。これらの授業は、児童たち自身に身につけて欲しいことを一つに絞り、確実に学びを持って帰ってもらおうという思いで作り上げてきました。その甲斐あって好評をもって終えることができ、実施後の校長会でも良い報告をすることができました。ご協力くださった皆様、本当にありがとうございます。最後に高須小学校への授業実現に一役買ってくださった工藤君に深く御礼申し上げます。

（記事：社会開発委員会委員長 河原研介）



# しまなみ3JC 新旧合同引継

11月16日

(金)、今治の地にてしまなみ3JC新旧合同引継会が開催されました。

しまなみ3JCとは、今治青年会議所・因島青年会議所・尾道青年会議所の3LOMで構成される組織で、3LOMが連携して事業を展開しています。



今年尾道青年会議所の復興チャリティイベントに今治・因島両青年会議所様よりブース出展をしていただきました。

引継ぎ式では、しまなみ3JCそれぞれの今年度理事長挨拶・専務理事による活動報告・次年度理事長挨拶そして各LOMからの参加者の紹介が行われました。



(記事：鍋島巧)

## 追い出し 野球大会

11月17日(土)に毎年恒例の追い出し野球大会が行われました。

「現役メンバー」対「卒業予定者」で、5回制で試合が実施されました。

試合は乱打戦となり、2回裏の卒業予定者の攻撃では、無死満塁から7得点のビッグイニングとなりました。

5回終わって15対9で卒業生のリードとなりましたが、現役メンバーより泣きの一回の申し出があり、1イニング延長しました。が、それでも及ばず最終的に15対13で卒業予定者の勝利となりました。



(記事：鍋島巧)

TEAM	一	二	三	四	五	六	計
現役	1	1	3	2	2	4	13
卒業	1	7	4	3	X	X	15

## ローズカップ

11月19日(日)福山市の平成大学にてローズカップが行われました。

福山JC、尾道JC、倉敷JCの3チームが総当りで試合を行い優勝を争いました。今年はおしくも準優勝となりました。

出場された選手の皆様、おつかれさまでした

(記事：鍋島巧)



## 秋季ゴルフ大会

追い出しコンペ

11月23日(金)、尾道うすしおカントリークラブにて、尾道青年会議所 秋期ゴルフ大会(追い出しコンペ)が開催されました。

寒風吹きさす天気の下でしたが、OB・特別会員の皆様とともに和気藹々とラウンドさせて頂く事が出来ました。

表彰式では、卒業予定者の皆様のご厚志が景品として、ランダムに決められた順位のメンバーに手渡されました。

(記事：鍋島巧)





### ブロックゴルフ大会実行特別委員会

理事に当選してからの1年4ヶ月が今思うとあっという間に過ぎたと思います。事業を構築する際、幾度となく悩みましたが、委員会メンバーをはじめ会員の皆様に様々なアドバイスを頂き乗り越えることが出来ました。また、事業を成し遂げるために理事メンバーをはじめたくさんの方が幾度も協議構築していることを、身をもって学ばせて頂きました。

本年は西日本豪雨災害など多くの災害に見舞われ事業が中止となる中、3委員会合同で復興チャリティー事業を行えたことは一番の思い出であり、委員会メンバーと強い絆で結ばれ、達成感をかち合うことが出来ました。皆様、一年間本当にありがとうございました。  
**副実行委員長 歌 一行**



### 地域教育推進委員会

皆様、1年間ご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございました。4月例会の畑先生のボトムアップ講演会にはじまり、11月のチャリティーイベントで事業を終えました。心残りなのは、8月に予定していた小学生対象の宿泊事業“サバイバルキャンプ”が7月豪雨の影響で中止になったことです。災害時に生きる事業でしたので、事業が先に出来ていたら子供達の意識や行動が何か違ったかもしれない、と悔しい思いです。

最後に、どんなときも一番近くで支えてくれた委員会メンバーの皆さん、1年間本当にありがとうございました！そして、井上副委員長、田中さんご卒業おめでとうございます！

**委員長 新宅 正章**



### 未来ビジョン委員会

予定者の時から1年4ヶ月本当に早く過ぎました。災害の影響で事業が1つなくなりましたが2月例会にはじまり、青年経済人育成事業、11月例会を無事に全て終えることができました。特に委員会メンバーには感謝の気持ちしかありません。委員長という良い経験ができ本当にありがとうございました。

**委員長 吉田 雄太**



### 総務広報委員会

総務広報委員会 委員長の鍋島です。本年度はテーマ「力」のもと、例会総会の設営やJCライフ等の発行といった事業をおこなってまいりました。

JCライフではOBの皆様楽しんでいただける内容にすると共に一般の方にも興味を持ってもらえるような誌面になるよう試行錯誤の中、編集・発行を行いました。

加えて、facebookや新しくなったホームページ上でも新たな試みを行ってまいりました。

また、広報の検証も行い広報の力の洗い出しも行いました。この検証結果については次年度以降にも役立てていただければ幸いです。

最後に、一年間通じてご協力・ご支援いただきましたメンバーの皆様に深く感謝申し上げます。

**委員長 鍋島 巧**

## 委員長あいさつ



### 会員資質向上委員会

会員資質向上委員会の委員長の中島です。当委員会では、担当している家族会と夏期講習が、今治市の受刑者脱走及び7月豪雨災害の影響で中止になり、事業を計画しても実現できないというもどかしい状況が続きました。

しかし、そんな中でも山北副理事をはじめ委員会の皆様から、残りの例会及び復興事業に向けて多くの意見をいただき、私自身モチベーションを下げることなくこの一年間やり抜くことができました。

結果10月例会及び復興チャリティーイベントの事業では、青年会議所の資質向上と尾道市の復興に向けて小さな一助になったと思っています。

最後に本年度ご指導とご協力をいただきました皆様には心から感謝いたします。

ありがとうございました。

**委員長 中島 裕一朗**



### 社会開発委員会

今年は、全国各地で多くの災害が起こり、尾道でも7月に豪雨災害の被害にあい大変な時期を過ごしました。そんな困難な状況もありながら、事業や諸活動を通じて、まちの人々がどれほど尾道青年会議所へ強い期待を寄せてくださっているかを肌を感じる事ができた1年でもありました。

この1年を通して、いつも一緒に考え抜いてくれた加度副理事長、石森副委員長にはとても大きな借りができたと感じています。またメンバー1人1人が多くの責任を全うしてくれた事、より強い団結を得た事、私にとってこれ以上の報酬はありません。素晴らしい1年でした。本当に有難うございました。

**委員長 河原 研介**



### 拡大研修委員会

今年1年間を振り返ってみると、3月例会、異業種交流会、各種研修事業と多くの事業を通じ様々な経験をさせて頂きました。

事業を成し遂げる為、企画をする度に、幾度となく協議し、意見がぶつかることも多々ありました。より良くする為に本気で考えた結果、何にも変えがたい強い絆が生まれました。

多くの事業を経て思い出を共に作ってきたこの1年は本当に楽しかったです。

拡大研修委員会メンバーへ。

最高のメンバーです。色々迷惑を掛けることも多かったと思いますが、いつもご理解とご協力を頂き、本当に助けられました。

どの事業もこの最高のメンバーがいたからこそ無事に終えることが出来ました。

1年間、本当にありがとうございました。

**委員長 高升 純**

編集  
後記

皆様も、年の瀬を迎え慌ただしい日々を過ごされているかと思います。一年の大半をJC活動に充てる我々にとって、JCライフを読み返す事で、上手に一年を振り返ることが出来るのではないのでしょうか？一年間ご愛読ありがとうございました。皆様も、良いお年をお迎えください。

(記事：森川 陵)

